

山下よしき党書記局長代行・参院比例代表候補の演説

山下よしき党書記局長代行が6月30日、神戸・元町で行った演説を紹介します(中見出しは編集部でつけました)。



皆さん今日は。日本共産党でございます。日本共産党書記局長代行、参議院議員、比例代表予定候補の一人、山下よしきです。いよいよ参議院選挙です。日本共産党は安倍政権と正面から立ち向かうとともに、どんな問題でも抜本的な対案を示してがんばる政党です。比例代表は日本共産党と兵庫選挙区は金田峰生とよろしくお願ひします。

■国民の所得をふやし、景気回復をはかる

今日は三つのことを訴えたいと思います。まず第一に、国民の所得をふやして景気回復をはかろうじゃないか、ということです。そのために、大企業が抱えている260兆円もの内部留保の一部を活用して賃上げと非正規社員の正社員化を進めたいと思っています。これが景気回復の突破口になると考えています。

一昨日「ニコニコ生放送」で安倍総理は「デフレだから賃金さがらんだ」といいました。しかしこれは、デフレと賃金の関係を逆立ちしてとらえているんじゃないでしょうか。皆さん、なんでデフレになるのか。それは長期にわたって働く人の賃金が下がり続けているからです。1997年をピークにして働く人の平均賃金は、年間70万円も減っております。これではモノを買えない、売れない。デフレになるのは当たり前ですね。

では、なぜ賃金さがってきたんでしょう。労働の規制緩和が原因です。その象徴は派遣労働を自由化しちゃったことです。今や若者の二人に一人が正社員になれない、安上がりでモノのように使い捨てられています。これがモノを買う力を落ち込ませた一番の原因ではないでしょうか。

ところが皆さん、安倍さんたち政府はこの労働の規制緩和をもっとやろう、派遣労働をもっと拡大しようというんです。さらに正社員についても「限定正社員」という制度をつくって、地域や職種が限定された「正社員」にする。工場が閉鎖されたら、セットで丸ごと正社員がクビにされる。こんな制度をつくろうとしています。皆さん、「クビ切り自由」、非正規の拡大。こんな方向に行けば、もっと賃金は下がり、デフレ不況はもっとひどくなるんじゃないでしょうか。こんな道を進めさせるわけにはいきません。

私たち日本共産党はこれを逆転させようと考えております。

■「原発ゼロ」の日本を

二つ目、「原発ゼロ」の日本をつくらうじゃないですか。福島原発の事故はいまだに収束しておりません。溶け落ちた燃料は高い放射線と熱を出し続けています。近づけないので事故の原因も究明されていません。なのにどうして原発の再稼働ができるのか、どうして日本の原発は安全だといって海外に売り込むことができるのか。安倍さんは原発のセールスマンになっています。私たちは「原発ゼロ」の日本を今すぐつくりたい。再生可能エネルギーへの転換を皆さんと一緒にすすめたいと思います。

今朝の討論番組で自民、公明、維新—原発推進派の皆さんが電力料金など現実的なことをどうするのか、と口をそろえて



働く人の所得をふやす、そのためには労働のルールをしっかりと作り直す必要があります。「使い捨て自由」の派遣労働を抜本的に規制する—これをやりたいと思います。

目の前にユニクロがありますが、若者を使いつぶす「ブラック企業」を根絶するために日本共産党は頑張ります。私、先日、安倍総理にユニクロで働いている若者の実態を示して対策を求めました。ユニクロでは3年以内にやめる人が50%を超えています。休職中の人のうち42%はうつ病などです。大学を卒業して半年で店長になり、うつになったある若者の仲間たちは「あの人が変わっちゃったね。前は明るくていい人だったのに」といってビックリしていました。ユニクロだけではありません。大手居酒屋チェーン店「和民」。ブラック企業大賞を受賞した、こんな会社の元会長を自民党は何と比例代表候補にするというんです。冗談じゃありません。ミスター・ブラック企業を担ぐ自民党か、国会でブラック企業根絶の先頭に立ってきた日本共産党か「自共対決」の選挙じゃないでしょうか。

いました。私たちはこの問題にちゃんとした答えを持っています。いま日本中で動いている原発は、大飯の二基しかありません。それでも今年の暑い夏をみんながんばって乗り切ることができたではありませんか。大飯も止め、全国の原発、全部止めましょう。その間の代替エネルギー、当面は火力発電に頼らざるを得ませんが、太陽光、風力、地熱、小水力、地熱、バイオマスなど日本の豊かな自然環境を生かした再生可能エネルギーの潜在的発電量は全原発50基の40倍あると環境省は言っているんですから、その実現のために知恵と力と科学技術を結集するのが、私たち共産党の提案です。

そして皆さん、自然エネルギーというのは普及すればするほ

ど安定します。電力の価格も下がります。ドイツでは政府が2020年までに原発ゼロにすると決断しました。そうすると再生可能エネルギーの産業がドンと起こって今や原発で働いていた人の9倍の雇用が実現しています。日本もこの道を進みましょう。自然エネルギー大国日本への道を、共産党を伸ばして進もうじゃありませんか。

私は原発推進派に強く言いたい、現実的にどうするというけれども、今の福島の実状を見よと。いまだに15万人の方がおうちに帰れません。子どもは外遊びができません。農家は作物を作れません。漁師は魚を捕ることもできません。たった1回の原発事故がこれだけの広い範囲、これだけの長期にわたって大変な惨禍をもたらした。非現実的な時間と空間をもたらしたのが原発事故ではなかったか。ここから目をそらして、現実的という言葉で原発にしがみつくと、責任ある政治家の立場ではないと思います。

福島の今を見よ、福島を出発点にしてエネルギーの問題を考えよ。これこそ3.11を体験した日本の進むべき選択ではないでしょうか。共産党を伸ばしていただいて、原発ゼロ、再生可能エネルギーの転換に真剣にチャレンジする日本へ進むではありませんか。

■憲法を守り生かす

第三に憲法の問題を訴えたいと思います。憲法を守り生かそうじゃありませんか。自民党は新しい憲法の案を発表しました。それによると、憲法9条を変えて「国防軍」を持つと言うんですね。自衛隊の名前が単に変わるだけではすみません。これまではイラクに自衛隊を送っても、憲法9条があるから戦闘地域には行きません、武力行使はしませんという歯止めがかかっておりました。この歯止めをなくし、アメリカと一緒に海外で武力行使をする、そんな日本に変えてしまっているのか、これが問

■日本共産党が伸びれば政治は変わる

私、山下よしきは、これまで国会で12年間、あつたかい人間の連帯を国の政治に、これをモットーに活動してまいりました。若者を使い捨てにするブラック企業の問題や、大阪市による職員への思想調査の問題を、働く人たちの誇りと悔しさを胸に国会で追及してまいりました。どうか引き続き、私、比例代表候補の一人、山下よしきを国会で働かせてください。

日本共産党は戦前から主権在民、侵略戦争反対の旗を掲げて、自由と民主主義のためにたたかってきました。戦後は自民党政治といっかんして対決し、国民が主人公の政治への転換を訴えてまいりました。政治を変えたいというみなさんの願いをぜひ日本共産党に託してください。日本共産党は政党助成金も、企業団体献金も受け取っていません。だから誰が相手でも国民の立場に立って堂々とモノをいうことができます。

ええこといいこと言うけど力がないのではと言う意見も聞きますが、日本共産党は全国に31万人の党員と、2万の支部、2700人の地方議員がおりまして草の根でしっかりみなさんと結びついて現実政治を動かしています。共産党国会議員団が提起をした賃上げこそデフレ不況打開のカギ、内部留保の活用をという提起は、政府も否定することができなくなりまして、不十分ではあっても、総理が経済界に賃上げの要請を行うまでになりました。

われる選挙となってまいりました。

この憲法9条を変えやすくするために、自民党や維新の会などは憲法96条からまず変えようと言いはじめました。しかし、これは禁じ手ですね。衆参両院の国会議員の三分の二以上の賛成で憲法を変える提案をすることができる、これが憲法96条が決めている中身です。三分の二としているのはなぜか、憲法という国の一番大事なルールですから、これを変えるときには徹底的に論議をして与党だけではなくて野党の国会議員もこれだったら大丈夫だ、これは大事だねと圧倒的多数の国民の代表が納得できるまで議論をしつくしてはじめて憲法を変えることができる、これが世界の常識ではないでしょうか。

この三分の二のハードルを二分の一に下げる。そもそも、憲法は国民をしぼるルールじゃないんです。権力の手をしぼるのが憲法です。しぼられる国会議員、権力者がしぼりかたを緩めてちょうだい、そして9条変えて海外で武力行使する日本に変えるなど許してはならないと思います。憲法を変えて、アメリカと一緒に戦争する日本への道はあかん、そのみなさんの願いをどうか日本共産党へと託してください。

日本の憲法は平和主義、基本的人権、素晴らしい内容を持っていますね、もう60年、70年たった、時代に合わなくなったと言う人がいますけどそんなことはありません。平和主義、基本的人権これはこれまでの長年の人類のたたかいによって獲得された人類共通の成果じゃないでしょうか。これを将来にわたって生かすのが政治の務めではないでしょうか。自民党はこれまで憲法の素晴らしい内容を現実政治に生かすことをサボってきた、時代に合わなくなったのは憲法ではなくて、自民党政治のほうではないでしょうか。この古い自民党政治から憲法を生かす新しい政治へと変えていくために、どうかみなさんの願いを比例代表は日本共産党へ、兵庫選挙区は金田峰生へと託して下さい。よろしく願いいたします。

この10年来、自民か民主か、「二大政党」による政権選択だといわれてきましたが、政権について民主が行った政治は結局、自民党と変わりませんでした。第3極といわれる勢力も自民党の応援団だということが明らかになりつつあります。今、自民党政治に立ち向かい、新しい日本の政治の展望を示すことができるのは日本共産党です。日本共産党は財界中心、アメリカいいなりという古い政治のゆがみをただすしっかりした立場をもっています。財界中心の政治から抜け出して、人間らしく働くルールある経済社会をつくります。予算の主役を社会保障に切り替えます。アメリカいいなりの政治にメスを入れ、核兵器も米軍基地もない平和な日本をつくります。そのために安保条約をなくし、対等平等の日米友好条約に切り替えます。

みなさん、今度の参議院選挙は自共対決の選挙です。自民党と対決、抜本的対案を示す日本共産党を伸ばしていただければ政治は必ず変わります。どうか比例代表は日本共産党とお願いいたします、兵庫選挙区は金田峰生、押し上げてください。ご一緒に新しい政治を開こうではありませんか。ありがとうございます。がんばります。